

## アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[ 金沢市立木曳野小学校 ] 担当教諭[ 角納 裕信 ]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[ 6年3組31名][ 6年1,2,4組17名]			
実施期間:2010年9月～2011年3月			
交流: <input checked="" type="checkbox"/> 有 国名[Korea] 学校名[ Seoul Munbeck Elementary school] 学年[6 <sup>th</sup> grade] 担当教諭[You, Sang-Yong ]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	社会科	世界の中の日本「日本の世界に果たす役割」	10時間
	総合的な学習	キャリア教育「国際社会に生きる」	3時間
	課外	英語会話練習・ペインティング・打ち合わせ等	2+7+2時間

■作品について教えてください。

題(テーマ)	Culture exchange Make it a motif "Fujin-Rajjin"
絵に込めたメッセージ	<p>相手国の文化を知るための基本である「衣食住」を描いた。その際、それぞれの国の文化を入れ替えて、例えば日本側が韓国の衣であるチマチョゴリを描き、韓国側は着物を描く、という形でそれぞれがお互いの文化を交換し合い、さらに食も入れ替え、食卓に招待し合うという形をとった。</p> <p>絵を描く過程を大切にしたい。隣国同士なのに案外お互いにお互いのことを知らない。改めて基本的なところから知り合いおつきあいをしていく、そこから始めていこうという思いがこめられている。</p> <p>また、日本は韓国とは戦争や秀吉の朝鮮出兵等仲違いするよりもむしろ有効な関係を築いてきている時代の方が長いはずである。右上に描かれた船は、江戸時代に韓国の方々をお迎えして盛大にお祝いした「朝鮮通信使」船である。</p> <p>今、お互いの文化がかなり行き来している。映画、ポップカルチャー、音楽、ダンス等このまま有効な関係を保ち続けていく、というメッセージが込められている。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・相手の担任の先生と奥様を通じて連絡を取り合う。(担任である旦那様は英語が出来ないため)	・5月にも話したが本格的に交流を始めていくことを伝える。非常に意欲的である。	社会科
情報収集	10月	・韓国の「衣食住」を中心にインターネットで調べ活動を行う。 ・自己紹介英文を作る。 ・簡単な日本紹介文を練習する。	・1回目の英文の手紙が韓国から一人一人に送られてくる。家族に教えてもらったり、辞書をひくなりして意欲的に翻訳する。しかし、返信する英語の学力がまだあまりない。	社会科 英語
テーマ検討	10月～ 11月	・TV会議を通して、自己紹介やテーマ、日本-韓国文化についてクイズなどを交えて話し合う。(5回) ・下書きを完成させる。 ・BBSに自己紹介文を載せる。	・自己紹介IDカードを送付。また、日本のアイドル雑誌などを送る。交流自体には非常に意欲的であるが、なかなか英語の学習に結びついていかない。英語の得意な児童は積極的にTV会議に出ようとする。(全員女子) 休日にも関わらず。	総合的な学習 社会科

制作	12月	・絵を塗る。	・国際交流に対して非常に意欲的な児童が17名も(女子ばかり)放課後残ったり、休日に描きに来たりして仕上げる。意欲の高さが伺える。	課外
鑑賞	1月～3月	・韓国の冬休みが早くはじまり長いため12月始めに絵を送り、12月後半に仕上がって返ってきた。	・12月後半に返ってきたのだが、なかなか見せず、焦らしていたら、私の目を盗んで少しずつ開くくらい、「交流相手はどんな風に描いているのか」非常に興味深い様子であった。 ・後、著作権に触れるため、上塗りして修正する。あまりやりたがらないであろうこともコツコツとやる。アートマイルは心も育てる。	総合的な学習

■学習目標と成果はどうでしょうか？(「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。)

(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	2	5・ <u>4</u> ・3・2・1	・臨機応変に英語で応じるのはまだまだ難しいが高い意欲が感じられる。
情報活用能力(収集・発信)	5	5・ <u>4</u> ・3・2・1	・6年生児童が対象であるが、教師の方でお膳立てしなければならない部分が、今までの経験より少々多く感じられたため
人間関係をつくる(交流相手・学級内)	8	5・4・ <u>3</u> ・2・1	・意欲的に参加している児童については、うまく人間関係を作れるが、今回は学年で1枚という形で動いているため、考えにくい。
協同作業をする力(役割・段取り)	9	5・4・3・ <u>2</u> ・1	・120名の6年生をまとめ多くの児童に満足感を得るようになるには、教師が段取りしないと無理
異文化の理解	6	<u>5</u> ・4・3・2・1	・教科書やネット上だけではなく、TV会議を通して生を感じることで、意欲の高まりがみられた。
自文化の理解・自分を見つめる	3	<u>5</u> ・4・3・2・1	・ほとんどの児童の振り返りの中に、「日本の誇れる部分を見つめ直し、発信していきたい。」という記述がみられる。
表現力	1	<u>5</u> ・4・3・2・1	・表現力を主眼において研究を進めている。 ・TV会議を通してめきめき付いていったと感じる
学習を追究する意欲	4	<u>5</u> ・4・3・2・1	・全ての児童が、「楽しい、またやりたい」と回答している。
作品を鑑賞する力	7	5・4・ <u>3</u> ・2・1	・日本の文化=漫画・アニメとされている。著作権に触れていた。児童の意欲もここに来てちょっと減退してしまった。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力と意欲をつけるために大いに活用することが出来、児童にも力が付いた。</li> <li>・発信—受信—発信(したい)という気持ちが生まれ、自国文化を考えたり、自分の国のことを振り返って考える機会になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが児童につきたい力と、韓国の先生が韓国の子供達につきたい力に違いや差がある。当たり前のことであるが、お互いに知っておいた方が、これから新たな国際理解教育の展開が見えてくるような気がする。</li> </ul>

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
・学校長をはじめ、学年の先生方に理解と賛同を得ることが出来、また本校の研究ともリンクさせる準備が出来たので、来年度以降は、カリキュラムの中にも位置づけていけたら、と考えている。	・6年生だけでなく、他の学年でもやってみたいという申し入れがあったり、保護者からは、「楽しい活動で、英語の勉強にもなるのでどんどんやって欲しい」と好意的である。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

・十人十色の国際理解教育・アートマイルプロジェクトがあるので面白い。 ・教師の個性や児童の実態に応じたアートマイルプロジェクトを毎年変化させて構築していきたいと思います。 ・ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。 ・お時間の許される限り、また英語のご指導をよろしくお願いいたします。
--